

資料 2-4

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
将来宇宙輸送システム
調査検討小委員会
(第2回) R2.1.30

将来宇宙輸送システム調査検討小委員会の検討項目案

令和2年1月30日

将来にわたり我が国の宇宙開発利用の根幹である宇宙輸送システムの自立性を維持・確保していくため、再使用型宇宙輸送システムを含む宇宙輸送システム技術について、以下の観点から調査検討。

1. 小委員会の調査検討事項

- 世界的な宇宙開発利用の拡大、また、戦略的な空間としての宇宙領域の重要性が高まる中で、打上げ市場等の環境変化を踏まえ、改めて我が国が宇宙輸送システムを維持する意義、課題は何か（自立性の確保や競争力についてどう考えるべきか）。
 - ・現在の基幹ロケットを含め我が国の宇宙輸送システムをどう発展させていくか、その課題は何か。
 - ・我が国の宇宙輸送分野関連産業の抱える課題は何か。

- 国内外の動向を踏まえ再使用型宇宙輸送システムを含む将来の宇宙輸送システム技術にはどのようなものがあるか。
 - ・宇宙開発利用の拡大を飛躍的に促す宇宙輸送システム技術は何か。
 - ・将来予想される新市場の創出・成長や官民の顧客ニーズ（潜在的なものを含む。）にどう答えられるか。

- 基幹ロケットシステムの発展、再使用型宇宙輸送システムを含め、中長期的な宇宙輸送システムの研究開発にどのように取り組むか。（必要な技術、コスト等を含む。）
 - ・宇宙輸送分野において技術イノベーションを創出するために取り組むべき課題は何か。

- ・宇宙輸送分野関連人材の育成、技術継承の観点で取り組むべき課題は何か。

- 我が国の研究開発体制、官民の役割分担をどのように考えるか。
 - ・独自に宇宙輸送システムの開発・事業化を目指す民間事業者との連携・協力をどう考えるべきか。

- 宇宙開発利用の根幹となる宇宙輸送システムの自立性と競争力確保のため、将来における理想像は何か、また、その社会実装に向けての技術的・制度的課題は何か。
 - ・システムの運用性や関連設備・サプライチェーン等を含めて将来をどう考えるべきか。

検討においては、宇宙航空研究開発機構（JAXA）等からのヒアリングを含めこれらの論点について調査検討を行い、将来宇宙輸送システム技術に関する今後の進め方について、一定の方向性を得る。

2. 今後の予定

- ・ 1月15日 第1回：
小委員会設置、国内の宇宙輸送系の動向、検討項目
- ・ 1月30日 第2回：
国外の宇宙輸送系の動向、将来の宇宙開発利用、検討項目
- ・ 2月20日 第3回：
我が国の将来宇宙輸送システムに向けた取組（ヒアリング等）
- ・ 3月18日 第4回：
我が国の将来宇宙輸送システムの向けた取組（ヒアリング等）
提言骨子素案

（宇宙開発利用部会へ報告）

- ・ 5月中 第5回：
提言骨子案
- ・ 6月中 第6回：
提言取りまとめ

（宇宙開発利用部会へ報告）